

一般財団法人 岐阜市みどりのまち推進財団

令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年度は、公益目的支出計画として位置付けている実施事業等会計区分事業（緑化推進、緑化普及啓発等）計画の一層の執行を図ると共に、その他会計として区分している事業（岐阜公園、葉草園、収益事業）についても着実な執行を図ることを念頭に事業を進めた。

1 実施事業等会計区分事業

(1) 実施事業等（公益目的）緑化推進事業

① 緑化推進事業

ア わが家のシンボルツリー記念樹配付

配付本数 573本 1,020,965円（前年度 615本 957,275円）

前期 令和4年11月27日 303本

後期 令和5年 3月 5日 270本

植物活性剤（メデネール）及び啓発冊子「花と緑のある暮らし」、
「みどりのまち便り」を配付した。

イ 花飾り講習会の開催

市民を対象に年5回（合計16回の講習）を開催し、体験教室を通して花の栽培、生育に係る知識の普及を図った。

また、各講習会の参加者には、「花と緑のガーデニングノート」等の緑化推進啓発冊子を配付することにより、家庭での普及に努めた。

実施日及び参加者数 計 560人（前年度 514人）

参加者内訳

5月18、19日（午前・午後） 140人

9月15、16日（午後） 70人

11月30日、12月1日（午前・午後） 140人

2月9、10日（午前・午後） 140人

3月15、16日（午後） 70人

※ 当初年4回の開催予定であったが、中止となったフローラリー
岐阜の代替措置として開催回数を1回増やし、5回開催した。

ウ 樹木医診断の実施

市民からの依頼に基づき、樹木医を派遣し相談に応じた。

また、保存樹・保存樹林の定期健康診断を実施し、民有地緑化の主と

なる樹木の適正な維持管理をした。

診断件数 45 件 1,377,000 円 (前年度 45 件 1,377,000 円)

エ 市民活動団体への活動支援

緑化推進に資するよう市民による関連活動の促進を図った。

- ・ふれあい花壇団体交流会を春季、秋季の合計6日間実施した。
南部、北部、西部コミュニティセンターで講習会等を実施し、参加者に春季に花壇用の肥料、秋季にチューリップの球根及び「花と緑のQ&A」や「花と緑のガーデニングノート」の冊子を配付した。

春季 参加団体 139 団体

参加者数 139 人

参加者内訳

5月31日 47人 6月1日 55人 2日 37人

秋季 参加団体 136 団体

参加者数 136 人

参加者内訳

10月4日 50人 5日 45人 6日 41人

※前年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、春季のふれあい花壇団体交流会を中止した。

(秋季開催 138 団体 138 人)

- ・ふれあい花壇団体が管理する花壇へ花苗を配付した。
春季はベゴニア、サルビア、秋季はパンジーの花苗を合計約 45,000 株配付した。

オ 保存樹等管理者講習会の開催

保存樹・保存樹林の所有者や管理者を対象とする講習会を開催した。

7月20日 北部コミュニティセンター 33人

(前年度 27人)

「樹木の日常管理と衰退原因」と題して、樹木医により講習会を実施した。

植物活性剤(メネデール)及び啓発冊子を配付した。

② 緑化普及啓発事業

ア 保存樹・保存樹林への対応

岐阜市が指定した保存樹・保存樹林の施肥等適正な維持管理に要する費用の一部を補助した。

- ・保存樹・保存樹林の補助金交付事業
登録数 保存樹 62件 保存樹林 20件
保存樹 54件 339,000円（前年度 54件 342,000円）
保存樹林 20件 490,000円（前年度 20件 490,000円）
※保存樹62件のうち8件については、補助金が無くても適正管理が可能のため辞退

イ 各種の奨励補助金の交付

民有地緑化の普及を図るため各種の補助金を交付した。

- ・張芝奨励補助金交付 18件 529,000円
(前年度 23件 646,000円)
- ・生け垣づくり奨励補助金交付 2件 40,500円
(前年度 0件 0円)
- ・自然環境保全活動団体支援
岐阜市自然環境の保全に関する条例に規定する団体に対し、財政的な支援として補助金を交付した。
8団体 510,000円（前年度 9団体 570,000円）

ウ 夏休み子ども寄せ植え教室（令和4年度新規事業）

「子どもたちが緑や花とふれあい、ガーデニングの楽しさを知り、岐阜のまちを緑あふれる未来に繋げたい」をコンセプトに開催した。

7月27日 南部コミュニティセンター 5組10人

③ 緑化基金造成、管理

主催、または、以下のイベントに参加し、基金の募金活動を行うと共に、緑化啓発パンフレット、種子及び花の配布を行った。

- ア 一般募金額 総計 144,678円（前年度 61,800円）
- ・岐阜まつり協賛 第50回道三まつり 令和4年4月3日
26,078円（前年度 0円）
 - ・第12回ふれあい緑化フェア 令和4年10月22日
18,300円（前年度 21,000円）
 - ・第8回シニアワークフェア 令和4年10月29日
36,000円（前年度 40,800円）
 - ・令和4年度岐阜市産業・農業祭 ぎふ信長まつり 令和4年11月5日
25,000円（前年度 0円）
 - ・第70回ぎふ梅まつり 令和5年3月4日
39,300円（前年度 0円）

※基金の募金活動を予定していたフローラリー岐阜は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

イ 岐阜市職員等寄付金

岐阜市 28 部署の職員等から寄付を受け、謝礼品の球根（チューリップ）を配付した。

1,039 口 588,350 円（前年度 1,162 口 584,253 円）

ウ 緑化基金現在高

前期末残高	302,891,526 円
当期増加高	733,028 円
当期末残高	303,624,554 円

(2) 実施事業等（継続） 梅林公園管理事業

市の業務仕様の着実な執行と共に、下記の事業を行った。

- ① 梅、モミジ等樹木の剪定、枯れ枝の処理を行った。
- ② 芝刈り、藤棚、生垣の維持管理を行った。
- ③ 梅の開花時期に合わせて、梅だよりとして当財団ホームページに週 1 回程度、計 10 回掲載した。

岐阜市のホームページにもリンクしており、利用者からは好評であった。

- ④ 市民参画社会形成の一環として地元校区のアダプト・プログラム（梅林公園を守る会、D51を守る会）の皆さんに清掃用具を貸し出すと共に、園内の清掃・管理を協働で行った。

また、令和 5 年 3 月 4 日、5 日には、4 年ぶりに市民主体で実施される「第 70 回ぎふ梅まつり」に実行委員として参画し、募金活動を兼ねて緑化普及啓発事業を行った。

2 その他会計事業

(1) 他 1 岐阜公園等管理事業

岐阜市からの受託業務である岐阜公園維持管理業務（アルバイト職員 3 名を派遣）、来園者用駐車場管理業務（堤外駐車場、堤外第 2 駐車場、大宮町駐車場）及び来園者休憩所等（華松軒）管理業務及び使用料収納事務を行い、公園来園者のサービス向上に努めた。

① 駐車場の利用状況

・堤外駐車場（収容台数 普通車 143 台）	
利用総数	73,719 台（前年度 76,325 台）
一日平均	202 台（前年度 210 台）

- ・堤外第2駐車場（収容台数 普通車 36 台）
 利用総数 24,252 台 （前年度 19,280 台）
 一日平均 67 台 （前年度 53 台）
- ・大宮町駐車場（収容台数 バス 18 台、
 普通車 68 台（前年度 28 台）、障がい者等 12 台）
 利用総数 バス 1,410 台（前年度 644 台）
 自家用車 67,351 台（前年度 26,515 台）
 一日平均 バス 4 台（前年度 2 台）
 自家用車 185 台（前年度 73 台）

② 岐阜公園来園者環境整備状況

- ア 来園者に対する誘導をスムーズにするため、パンフレット「岐阜公園駐車場案内図」の配布に努めた。
- イ 岐阜公園、岐阜城・金華山への来訪者に対する「おもてなしの心」の一環として、岐阜公園駐車場に花のプランターを設置した。
- ウ 来園者無料休憩所南側にゴーヤによる「緑のカーテン」を設置し、緑化推進と休憩者に対し涼の提供を行った。
- エ 華松軒の利用促進を図るため、案内看板を設置した。
- オ 来園者が庭園を眺めながら呈茶を楽しめるように、野立て傘を設置した。
- カ 華松軒の襖と畳を張替えた。

③ 市民茶会

市民茶会は、令和4年11月12日に3年ぶりに開催したが、募集人員を40名から30名に減らして実施した。

日本の伝統文化の「茶の湯」体験と普及啓発を図るための市民茶会には、32名（午前18名、午後14名）が参加され、参加者は、「茶の湯でわたし時間」を有意義に過ごされた。

(2) 他2 薬草園管理事業

岐阜薬科大学の指示・指導の下、薬草園の維持管理に努めた。

- ① 標本中央畑他8ブロックにおいて、栽培、除草、清掃、種子採取、収穫、植替え等を実施した。
- ② 管理舎、水草園の維持管理及び温室の室温管理を実施した。

※ ボランティア勉強会（毎月第2水曜日）、一般公開、オウレン特別公開は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止となった。

(3) 他3 自動販売機事業等収益事業

当財団の貴重な運営財源である収益事業の概要は、次のとおりである。

・自動販売機事業	設置数	32台	(前年度	32台)
	収益額	4,766,470円	(前年度	4,411,807円)
・立礼茶席事業	利用者数	7,005人	(前年度	5,619人)
	収益額	3,338,700円	(前年度	2,698,150円)
・総合計収益額		8,105,170円	(前年度	7,109,957円)

立礼茶席事業は、前年度「まん延防止等重点措置」地域の指定及び「緊急事態措置を実施すべき地域」の指定に伴い、2か月ほど立礼茶席を休業した。

しかし、今年度は、基本的な感染防止対策として座席数を14席から7席に半減し、アルコール消毒をして営業を行った。

また、2月から利用者の増加を図るため、呈茶の平日限定割引券を駐車場で配布すると共に、携帯電話でQRコードを読み込み、平日限定割引クーポン画面を提示させることで50円の割引を行った。

その結果、2か月間で1,052人中、平日限定割引は56人、QRコード割引は41人の合計97人の利用があった。

【事業報告の附属明細書】

令和4年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しない。